

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	大正南
-----	-----------	-------	-----	-----	-----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	6,683,310 千円	
当該事業による費用	②	1,553,173 千円	
その他費用	③	5,130,137 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	10,860,028 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.62	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	345,160 千円	用排水施設、区画整理、暗渠排水、土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、大豆、小豆、いんげん、だいこん等
品質向上効果	20,116 千円	用水施設の整備を実施した場合に品質向上により農産物単価が上昇する効果 対象作物：だいこん、スイートコーン
営農経費節減効果	337,827 千円	用排水施設、区画整理、暗渠排水及び土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：小麦、てんさい、ばれいしょ、大豆、小豆、いんげん、だいこん等
維持管理費節減効果	-12,167 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、農業用排水路
計	690,936 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型)	都道府県名	茨城	地区名	柳河
-----	-----------------------	-------	----	-----	----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,113,544 千円	
当該事業による費用	②	1,326,240 千円	
その他費用	③	787,304 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	3,708,494 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.75	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	52,007 千円	区画整理、農業用排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稻、ネギ、白菜、キャベツ等
品質向上効果	9,884 千円	用水施設、農道の整備を実施した場合としなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：ネギ、白菜、キャベツ、イチゴ
営農経費節減効果	126,083 千円	区画整理、用排水施設の整備を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稻、ネギ、白菜、キャベツ等
維持管理費節減効果	△3,661 千円	区画整理、用排水施設、農道の整備を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用水施設、排水路、農道
営農にかかる走行経費節減効果	12,334 千円	農道の整備を実施した場合としなかった場合での農業交通にかかる経費が節減する効果 対象施設：農道
一般交通等経費節減効果	8,774 千円	農道の整備を実施した場合としなかった場合での一般交通にかかる経費が節減する効果 対象施設：農道
地籍確定効果	1,181 千円	区画整理を実施した場合としなかった場合での国土調査費にかかる経費が増減する効果 対象施設：区画整理
非農用地等創設効果	1,449 千円	区画整理を実施した場合としなかった場合での公共施設用地取得にかかる経費が増減する効果 対象施設：農道
計	208,051 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	宮崎県	地区名	南ヶ丘第1-1期
-----	--------------------------	-------	-----	-----	----------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,253,604千円	
当該事業による費用	②	979,953千円	
その他費用	③	1,273,651千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,668,277 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.18	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	133,534千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：里芋、大根、人参
品質向上効果	941千円	農道整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：里芋、大根、ぶどう
維持管理費節減効果	△2,688千円	用水施設、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	27,630千円	農道を実施した場合と実施しなかった場合での走行経費が増減する効果 対象施設：農道
計	159,417千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	宮崎県	地区名	尾鈴北第2-1期
-----	--------------------------	-------	-----	-----	----------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	4,989,594千円	
当該事業による費用	②	1,003,905千円	
その他費用	③	3,985,689千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	6,152,339千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.23	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	357,665千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：とうもろこし、かぼちゃ、里芋
維持管理費節減効果	△6,801千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路
計	350,864千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	都道府県名	鹿児島県	地区名	白瀬
-----	-----------------------	-------	------	-----	----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,734,452千円	
当該事業による費用	②	1,547,617千円	
その他費用	③	186,835 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	2,558,276 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.47	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	1,552 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：サトウキビ、ばいれいしょ、ローズグラス
営農経費節減効果	133,745 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：サトウキビ、ばいれいしょ、ローズグラス
維持管理費節減効果	△590 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道
計	134,707千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二曽於北部1期
-----	--------------------------	-------	------	-----	----------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	6,739,339千円	
当該事業による費用	②	1,836,482千円	
その他費用	③	4,902,857千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	50 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	6,948,987千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.03	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	255,106千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さつまいも、とうもろこし、里芋
品質向上効果	83,411千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：さといも、茶、かぼちゃ
営農経費節減効果	120,426千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さつまいも、とうもろこし、里芋
維持管理費節減効果	△19,962千円	用水施設、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	7,632千円	農道を実施した場合と実施しなかった場合での走行経費が増減する効果 対象施設：農道
一般交通等経費節減効果	3,794千円	関連道路の整備を実施した場合と実施しなかった場合の一般交通等の経費が増減する効果 対象施設：関連道路
計	450,407千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	鹿児島県	地区名	第一花徳
-----	--------------------------	-------	------	-----	------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	4,026,751千円	
当該事業による費用	②	1,521,278千円	
その他費用	③	2,505,473千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,350,739千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.32	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	312,689千円	用水施設の整備、土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：サトウキビ、ローズグラス、イタリアン
品質向上効果	4,242千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：サトウキビ
営農経費節減効果	16,592千円	用水施設の整備、土層改良を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：サトウキビ、ローズグラス、イタリアン
維持管理費節減効果	△7,911千円	用水施設、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路
計	325,612千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	畑地帯総合整備事業 (担い手支援型・一般)	都道府県名	鹿児島県	地区名	余多1期
-----	--------------------------	-------	------	-----	------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3,249,069千円	
当該事業による費用	②	1,044,763千円	
その他費用	③	2,204,306千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	49 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,393,773千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.66	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	293,988千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：サトウキビ、葉たばこ、とうもろこし
品質向上効果	2,804千円	用水施設、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物の品質が向上する効果 対象作物：サトウキビ、ばいれいしょ、里芋
営農経費節減効果	10,311千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：サトウキビ、葉たばこ、里芋
維持管理費節減効果	△4,087千円	用水施設、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	45,786千円	農道を実施した場合と実施しなかった場合での走行経費が増減する効果 対象施設：農道
地域用水効果	284千円	用水施設を整備を実施した場合と実施しなかった場合の地域用水を利用する経費が増減する効果 対象施設：農業用用水路
計	349,086千円	